

# 市地区社協研修会

## ～川崎市子ども夢パーク～

令和5年9月29日(金)「川崎市子ども夢パーク」へ各地区社協会長の皆様と視察に行ってきました。

子ども夢パークは「川崎市子どもの権利に関する条例」をもとにつくった施設であり、川崎市が決めた子どもについての約束を実現する場でした。また、夢パークは子どもたちが安心してありのままの自分でいられる居場所として存続するように多くの大人たちが支え、子どもが「やりたい」と思ったことにチャレンジできるように、できるだけ禁止事項をつくらないで「自分の責任で自由に遊ぶ」ことを大事にしています。

当理事長の西野さんから「小学1年生から中学3年生で一番いじめが多い学年は？」と問いかけられ、それぞれの学年にバラバラに手が挙がりました。驚いたことにいじめが多い学年は2年生でした。次に1年生と3年生でした。「学校が安全で安心して楽しく学べたら学校に行きたいんだよ」というのが不登校になる子どもの声でした。

夢パークではあれこれと細かく注意するのではなく「大丈夫だよ」と見守っていく中で、9割の子ども達が高校に進学していく実情にも驚かされました。それは自分と同年齢の周りの子どもの姿を見て、自身を振り返って考えたから立ち直れたそうです。「子どもはだんたん人間になるのではなくすでに人間である」そのような目で子どもと接していました。

教育界の方針は、従来不登校の子どもを学校の外で学ばせて学校へ行けるように働きかけることでしたが、不登校の子どもが学校外のところで学ぶことも良しとする考えに変遷してきています。

子ども達から「大人の人たちが幸せになってください。そうすると私たちも幸せになります」と投げかけられたそうです。

このような施設、条例、具体的な取り組みを視察して

思うことは「ありのままにいられる居場所づくりや自分の責任で自由に遊べる空間を存続させる取り組みをしながら見守ってあげることの大切さ」麻溝の地域づくりの中にこうした考えや思いを深めていけたらと思いました。  
(会長 境 勉)

## ～重層的支援体制整備モデル事業研修会～

重層的支援体制整備モデルは国が行っている事業で市社協が受託して活動しています。

本事業は、包括的支援体制事業で、地域づくりに向けた支援を実施すること。そのため、相模原市では、地域づくりモデル事業の実施として、市内3区に各1カ所モデル地区を指定し社会資源を調査する。モデル地区は藤野地区、田名地区、大野南地区です。その報告によっては、参考にし、活動するとよいでしょう。

その後、令和の時代に合った地域活動の講義がありました。講師は静岡県地域づくりアドバイザー 里山くらしLabo 代表 池田水穂子氏です。地域の困りごとの13項目の事例発表があり、その事例の中には、麻溝地区内での問題と同じようなものもありました。

例えば①担い手の確保 ②活動の負担 ③住民の関心不足など。

今の時代に合った会議や活動、事業をすることもよいでしょうとアドバイスをいただきました。

(理事 春山 すみ子)

## 手紙ふれあい交流事業

～敬老事業実行委員会より～

今年度も、88歳以上の方々に、麻溝小学校と夢の丘小学校の児童の皆さんが書いたお便りをお届けします。

2月ごろ、お手元に届くように準備しておりますので、区内児童の書いた様々なお手紙、どんな内容が届くかお楽しみに。



## 優良地区社協表彰を受賞しました

神奈川県社会福祉協議会より、本年度、相模原市を代表して優良地区社協表彰を受賞しました。

今後とも、皆様と共により良いまちづくりに邁進していきたいと思っております。



共に生き  
支え合う  
社会

# ふれあい麻溝

～麻溝社協だより～

第114号  
令和6年1月発行

麻溝地区社会福祉協議会  
相模原市南区下溝 594-6  
麻溝まちづくりセンター内  
TEL: 042-778-2381

## 4年ぶりの開催! 麻溝ふるさとまつり

令和5年10月29日(日)麻溝小学校にて「麻溝ふるさとまつり」が開催されました。4年ぶりの開催とあって、たくさんの来場者で賑わいました。朝まで降り続いた雨もおまつりが始まるころにはすっかりやんで穏やかな天候の中、3,000人を超える人たちが集まりました。

今年は新たな取り組みとして、敬老事業実行委員会と共催で演芸部門の中で敬老イベント(みんなで歌おう・いきいき健康体操)を企画し、敬老事業対象者の方々も70名ほどお越しになり、歌を歌ったり、体操をしたりと地域をあげてお祝いすることができました。

麻溝小学校のふれあいまつりも同時開催されており、世代を超えて多くの人々が集う、とてもにぎやかな一日となりました。

### 《地区社協》模擬店出店



美味しいと評判の焼きそばです。



麻溝地区社協への募金は1,232円、模擬店(焼きそば・飲み物)の売上げは、120,100円となりました。

募金及び売上げ金は、地域の福祉事業のために活用させていただきます。



### 《敬老事業実行委員会》

## 敬老イベント



みんなで歌おう～アコーディオンの音色とともに～



健康いきいき体操



社協はみんなの参加と協力で

57名参加!

# 「かぐやびより」

福祉講座開催  
しました!!

令和5年12月9日(土)午後、本会福祉講座として福祉映画「かぐやびより」の上映。その後、監督の津村和比古氏と福祉施設「さんわーかくぐや」前理事長の藤田慶子氏とのトーク会を開催しました。

藤沢市にある障害のある方の日中一時支援事業を行う「さんわーかくぐや」で過ごすメンバーの日常を撮り続けたドキュメンタリー映画。敢えてナレーションやBGMを入れず、ありのままの音(鶏の声、絵を描く鉛筆の音等々)で臨場感があり、木々が茂っている自然に囲まれた中で、絵や書、陶芸などの創作活動、畑での農作業、梅干し、小麦粉、きな粉等の自家生産、昼食づくりなど色々な活動を行いながら楽しく過ごせる場所。餅つきやスイカ割り、竹を割って流しそうめん。かぐや祭では、一人一人が絵を描いたドレスを来てダンス。皆、辛く悲しい体験をした事もここに通うようになってからは、もう一つの家族のように自由にありのままの自分を認めてもらえて、楽しくゆったりと過ごしている。「日本のプータン」といわれる施設を、津村監督が3年半の間120日余り通い優しいまなざしで撮り続けた心温まる映画。藤田氏は障害があってもなくても、自分らしくありのままに過ごせる場所をと、今は亡き統合失調症の娘と共に過ごす場所として設立しました。

津村監督はその愛情に満ちた運営のやり方や個性豊かなメンバーに感銘を受け、ドキュメンタリー映画を作成されました。見終わった後は、感動と共に優しい気持ちが余韻として残りました。

(理事 樋口 裕子)



横浜市民防災センターに  
いってきました!

## 視察研修会



令和5年度、地区社協福祉委員は、11月21日(火)新横浜ラーメン博物館で昼食・館内散策後、横浜市民防災センターを訪問しました。

最初に訪問した新横浜ラーメン博物館では、昭和レトロ感が漂う館内のお店で、それぞれお好みのラーメンを食べた後、ラーメンの文化と歴史の展示コーナーや映像でラーメンの文化や屋台のルーツを学ぶことができました。日本ではすでに室町時代に中華麺があったとは大変驚きました。

その後、バスで横浜市民防災センターを訪問しました。今回は防災センターの2つの体験メニューのうち3部構成の風水害体験ツアーにみんなで参加しました。最初に大雨や土砂災害を疑似体験できる部屋で災害から身を守る行動など学びました。次は災害シアタールームに移動して横浜で起こりうる災害を想定した映像を視聴して決して対岸の火事ではないことを学びました。最後に的確に避難するタイミングを理解しておくためのマイタイムラインについて学びました。

今回で学んだことを今後に活かしていきたいと思います。(理事 山口 誠)



# 今月の麻溝地区サロン紹介

## 谷戸ぽっぽ



子育てサロン”谷戸ぽっぽ“は毎月第3水曜日(変則的な月もあるのでご確認ください。)10:00~下溝駅から徒歩から近い谷戸公会堂で行われている親子サロンです。谷戸ぽっぽはとてもこじんまりとしたサロンで、特別な活動は設けていません。お母さん達がちょっと気持ちを休める場になれば良いと思っています。畳のお部屋におもちゃを沢山用意してお待ちしていますので、親子サロンに行ったことない人もどうぞお気軽にふらっと親子で遊びに来ていただくと嬉しいです。

〈谷戸ぽっぽ代表 三浦 尚美〉

## 光明サロン



光明サロンは毎月第4月曜日に10時から12時まで光明学園高校の6階修養室にてみんなで楽しいひと時を過ごしています。

はじめにラジオ体操を行い、次に相模原音頭を踊り、毎月内容を変えて行っています。11月はモルックを行い、その後、高校の食堂で学食会を実施しました。別の開催日には紙芝居やまちかど講座、ビンゴ大会を取り入れたり、他にも歌集で皆で歌ったりしながら楽しい時間を過ごしています。ぜひ大勢の方に来てもらいおしゃべりをしましょう!お待ちしております。

〈光明サロン代表 柴山 淳二〉



## みんなで楽しくウォーキング 予告

麻溝地区社会福祉協議会では昨年引き続き麻溝地区健康づくり普及員の皆様にご協力いただき3月28日(木)健康ウォーキングを開催いたします。場所や時間等は現在調整中です。決まりましたら麻溝地区地域情報紙(回覧)やホームページ等でお知らせいたします。



## 〈街頭募金ご報告〉

10月5日(木)に原当麻駅、スーパー三和麻溝店入口付近で赤い羽根街頭募金を実施いたしました。ボランティアとして協力してくださった皆様、ご寄付をくださった皆様ありがとうございました。今年の募金額は43,200円でした。ご協力ありがとうございました。



## ~エコキャップの回収を終了しました~

令和5年12月25日(月)をもちまして、エコキャップの回収は終了しました。長きにわたり、ご協力ありがとうございました。